

社会資本整備総合交付金チェックシート

計画の名称：交通事故ワースト1脱出に向けた安全・安心なみちづくり(防災・安全)

都道府県名：浜松市

チェック欄

I. 計画の必要性及び目標の妥当性	
①上位計画等との整合性	○
②地域の課題への対応(地域の課題と整備計画の目標の整合性)	○
II. 整備計画の効果及び効率性	
①整備計画の目標と定量的指標の整合性	○
②定量的指標の明瞭性	○
③目標と事業内容の整合性	○
④事業の効果(要素事業の相乗効果等)の見込みの妥当性	○
III. 計画の実現可能性	
①円滑な事業執行の環境(事業熟度、住民等の合意形成等を踏まえた事業実施の確実性)	○
②地元の機運(住民、民間等の活動・関連事業との連携等による事業効果発現の確実性)	○

事前評価	
○事前評価の実施体制、実施時期	
事前評価の実施体制	事前評価の実施時期
<ul style="list-style-type: none"> 実施主体：土木部 道路企画課 評価に係る審議：土木部公共事業評価審査会にて審議 	平成30年1月17日
	公表の方法
	市ホームページにて公表
1 計画の必要性及び目標の妥当性	
①上位計画との整合性	■：上位計画の政策目的と整合している。 第10次浜松市交通安全計画（平成28年度～平成32年度）に沿った交通安全対策事業である。
②地域の課題への対応（地域の課題と整備計画の目標の整合性）	人口10万人あたりの人身交通事故発生件数が全国20政令市中8年連続ワースト1という状況に対し、交差点改良や歩道設置、注意喚起路面標示の設置などにより人身交通事故発生件数の削減を図る。
2 整備計画の効果及び効率性	
①整備計画の目標と定量的指標の整合性	各種交通安全対策の実施により、人身交通事故の発生件数を削減する指標を設定しており、重点的な交通事故対策により、安全・安心なみちづくりを推進する。
②定量的指標の明瞭性	指標の現況値は、平成29年における市内人身交通事故発生件数を設定しており、事業完了後に人身交通事故発生件数を調査することにより人身事故削減率を示すことが可能。
③目標と事業内容の整合性	交差点改良や歩道設置、注意喚起路面表示の設置等を行うことにより、交通事故発生件数の削減につながるため、計画の目標である安全・安心なみちづくりと整合している。
④事業の効果（要素事業の相乗効果等）の見込みの妥当性	交差点改良や歩道設置、注意喚起路面表示の設置など、各種交通安全対策の実施により、交通事故発生件数の削減に効果が見込める。
3 計画の実現可能性	
①円滑な事業執行の環境（事業熟度、住民等の合意形成等を踏まえた事業実施の確実性）	オール浜松で交通事故ワースト1脱出に向けた取り組みを進めているところであり、地域住民や道路利用者が強く望んでいる交通事故対策の推進に伴う安全確保について、交通事故の発生状況等から対策の必要性の高い箇所での重点的な交通事故対策を実施する。
②地元の機運（住民、民間等の活動・関連事業との連携等による事業効果発現の確実性）	交通事故ワースト1脱出に向けて、道路管理者や交通管理者、自治会など関係機関が連携して様々な安全対策に取り組んでおり、地域住民の強い要望もあり、交通事故対策に関する関心が高い。
部審査会 対応方針	部審査会審議日：平成30年 1月17日 整備計画の目標達成に向けて、事業を推進していく。